

診療科紹介 皮膚科

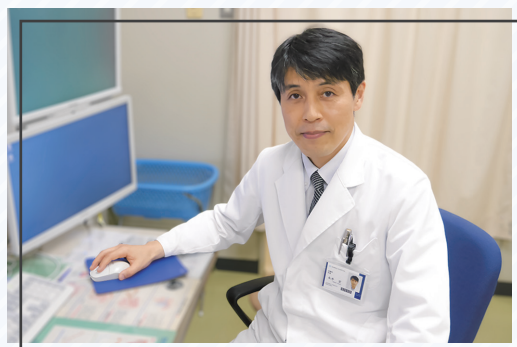
皮膚科の疾患について

はじめに

神鋼記念病院を御利用の皆様、はじめまして。2020年10月1日付けで皮膚科科長として着任した永井です。出身は神戸市中央区（旧葺合区）で、小学生時代には本病院の近くの公園まで自転車で遊びに来ていた記憶があります。生まれ育った神戸の地域医療を担う神鋼記念病院で診療できることを嬉しく思っています。前任の神戸大学医学部附属病院では、長年にわたり診療、教育、研究に従事してまいりました。大学病院では、診断や治療に難渋する症例の紹介が多く、そうした症例の診断や治療に従事して得た経験は私にとって大きな財産となっています。その経験を活かして地域医療に貢献できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

皮膚科の疾患について

皆様がよく御存じの皮膚の病気として、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、円形脱毛症、水虫、にきび、イボ、ヘルペスなどがあると思います。もちろん



皮膚科 部長

永井 宏

Hiroshi Nagagai

神戸大学を平成4年に卒業。
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
などの資格を持つ。

これらの疾患は皮膚科で診断・治療を行っていますが、そのほかにも多種多様な疾患を対象としています。大きく分けると、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹などのアレルギーが関連する疾患、乾癬や掌蹠膿疱症を代表とする慢性の皮膚炎症疾患、円形

脱毛症や水疱症（皮膚に多数の水ぶくれが生じる）など自己の皮膚成分に対する免疫反応による疾患、白斑（皮膚の色が白く抜ける）を代表とする色素異常症や、細菌・真菌（カビ）・ウイルスなどの感染による疾患、遺伝子の異常が原因で生じる先天性の皮膚疾患、皮膚の良性・悪性腫瘍などになります。また「**皮膚は内臓の鏡**」という言葉があるように、種々の内臓疾患（糖尿病、肝疾患、腎疾患、腸疾患、膠原病、血液疾患、内臓悪性腫瘍など）に特有の皮疹が出現することが知られています。そのような皮疹から上記の内臓疾患の存在が初めて判明することもしばしばあります。



高齡化社会と皮膚疾患

昨今の高齡化に伴い、増えてきている皮膚疾患があります。その中から3つを紹介させていただきます。

皮膚がん

1つ目は皮膚がんで、特に高齡者の顔や手の甲など露光部に生じる日光角化症（皮

膚がんの早期段階の病変）は、良性のシミと見分けにくいことがあります。日光角化症は長年の紫外線のダメージが蓄積した60歳以上の方で多く認められます。写真1のように少し赤みがあったり表面がガサガサしている場合には日光角化症を疑い、診断確定のために生検（病変部のごく一部を切除）による病理組織検査を行います。治療は手術による切除が確実ですが、多発している場合や境界が不明瞭な場合も多いため、外用薬による治療を行うこともあります。

写真1



水疱性類天疱瘡

2つ目は水疱性類天疱瘡という疾患です。これは写真2のような水疱（水ぶくれ）が多発する疾患で、皮膚を構成する成分に対して抗体が生じてしまう自己免疫性疾患です。診断は生検による病理組織検査と血液検査によって行います。治療はステロイドとい

う薬の全身投与が基本になりますが、軽症の場合やステロイドの副作用が問題となる場合は、他の治療法から開始することもあります。

写真2

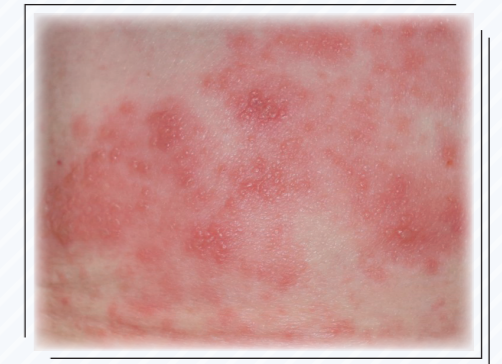


帯状疱疹

3つ目は帯状疱疹です。写真3のような小さな水ぶくれ（小水疱）を伴う赤い皮疹が神経に沿って出現します。皮疹の出現前にピリピリとした痛みを自覚される方が多いですが、痛みや皮疹の程度は様々です。以前にかかった水ぼうそうのウイルスが体内の神経節に潜んでいて、加齢や過労などが引き金となってウイルスが再活性化し、神経を伝って皮膚に到達して発症します。50歳以上で増加し、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。治療は抗ウイルス薬が基本となり、発病早期に開始するほど高い効果

が期待できます。通常、皮膚症状の改善とともに痛みも消えますが、後遺症として頑固な神経痛（帯状疱疹後神経痛）が残ることがあります。そのため50歳以上の方を対象に帯状疱疹の発症を予防するワクチン（自費）を接種することが可能となっています。

写真3



おわりに

当院皮膚科は日本皮膚科学会認定専門医2名が常勤医師として在籍し、皮膚疾患全般を対象に診療を行っています。近年、皮膚科領域においても新しい薬剤が次々と開発され、これまでの治療では効果不十分であったアトピー性皮膚炎や蕁麻疹、乾癬などの症例においても高い有効性を発揮しています。当院皮膚科では、最新の治療選択肢から患者さんの状態やニーズに応じた最良の治療を提供できるよう努めて参ります。皮膚の病気について気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

鶏むね肉のホイル焼き



皆さんの生活にマスクが必須となり、日頃から感染予防を心がける場面が多くなりました。感染症から体を守るために、たんぱく質を補い、ビタミン C、E の摂取で抗酸化作用を高めて、免疫力を上げることのできるメニューをご紹介します。

栄養室 高松 恵里

【作り方】

- 1 鶏むね肉は皮をはぎ、薄めのそぎ切りにする。
塩・こしょうをし、小麦粉をまぶす。
- 2 しめじは石づきをとり、ほぐし、えのきは根元を包丁でおとす。
ブロッコリーは小房の付け根に包丁をいれ、1口大に切り離し、
人参は短冊切りにする。
- 3 アルミホイルを広げ、鶏むね肉、全ての野菜、Aの調味料を入れて包む。
- 4 オーブントースターを使用し、1200Wで15分程度焼く。
- 5 ホイルを開き、上からくし切りにしたレモンを絞って完成。

【材料】2人分

鶏むね肉…………… 160g
塩・こしょう…………… 少々
小麦粉…………… 大さじ1
ブロッコリー…………… 1/3株(45g)
えのき…………… 1/3パック(50g)
しめじ…………… 1/2パック(60g)
人参…………… 1/3本(30g)

＜A＞

マーガリン…………… 5g×2
醤油…………… 小さじ1×2
酒…………… 大さじ1×2
レモン…………… 1/4個×2

【1人分の栄養量】

エネルギー…………… 206kcal
たんぱく質…………… 23.0g
脂質…………… 6.3g
炭水化物…………… 13.0g
塩分…………… 1.2g
ビタミンC…………… 63mg
ビタミンE…………… 2.1mg

【1日の摂取基準】

ビタミンC：100mg
ビタミンE：5.0～7.0mg



Information

年末年始の診療のお知らせ

12月30日(水)～1月3日(日)まで当院は休診致します。
12月28日(月)・29日(火)・1月4日(月)の
診療についてはホームページや各科外来ブロック
等でご確認頂きますよう宜しくお願い致します。



Contents

- 特集 診療科紹介 皮膚科
皮膚科の疾患について
- ヘルシーレシピ
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して
皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、
安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、
プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、
地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、
切れ目のない医療サービスの提供に
努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かな
スタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:<https://shinkohp.jp>
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長
松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

<https://shinkohp.jp>